

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

令和2年3月発行 121-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp / URL：http://www.otedama.jp

保育園児が段位認定審査に

和歌山の栄谷保育所の年長さん

『わかやま新報』の令和2年3月15日付「キッズシンポ」の紙面に『お手玉できるようになったよ』



が、お手玉をする園児のカラー写真付きで大きく紹介されました。

これは、3月の卒園・卒業シーズンの企画として、記者が、和歌山市内の栄谷保育所の園児に「できるようになったことがありますか？」と尋ね、それに年長さんが「お手玉がたくさんできるようになりました」と答えたことなどをまとめたものです。中には「成功した回数が1000回」という子もいました。

栄谷保育所には、和歌山のお手玉の会（森

勝代会長）が、長年にわたってお手玉の指導に出かけていますが、保育所でもお手玉を熱心に指導しています。（写真は上下とも、お手玉をする栄谷保育所の園児。いずれも「わかやま新報」から）

「0歳からお手玉を触って遊んでいて、両手2個ゆりは4歳から練習を始めました。最初はうまくできなくて、悔しくて泣いたり、練習をやめたりもしたけれど、上手にできると楽しくなって、また練習するようになりました」と、保育所の先生は話しています。

栄谷保育所では、年長さんの18人中13人が日本のお手玉の会の段位認定審査で初段（両手2個ゆり20秒以上）に合格しています。また片手2個ゆりで2段（15秒間以上）に合格している子もいます。



保育所では、「お手玉デー」を決め、その日は保育所全体でお手玉に取り組んでいます。また、カードを作って1人ひとりの園児のお手玉のでき具合を記録するなどの工夫をして、園児の励みにしているそうです。